

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	公告方法	当社のWebサイトに掲載します。 (http://www.kureha.co.jp/ir/stocks/koukoku.html)
定時株主総会	6月		ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
株主確定基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日 その他必要がある時は、取締役会の決議によってあらかじめ公告します。	株主名簿管理人	東京都中央区八重洲1-2-1 みずほ信託銀行株式会社

お問い合わせ内容	お問い合わせ先	
	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
<ul style="list-style-type: none"> ● 氏名、住所などのご変更 ● 単元未満株式の買取・買増のご請求 ● 配当金の受け取り方法、振込先のご変更 	お取引の証券会社にお問い合わせください。	※みずほ信託銀行 証券代行部にお問い合わせください。
<ul style="list-style-type: none"> ● 郵便物の発送・返戻に関するお問い合わせ ● 未払い配当金に関するご照会 	※みずほ信託銀行 証券代行部にお問い合わせください。	
<ul style="list-style-type: none"> ● 特別口座から証券会社口座への振替え手続き 		

※ みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル：0120-288-324 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
 ご来店窓口 みずほ信託銀行 本店および全国各支店
 みずほ証券 本店および全国各支店
 (未払い配当金に関するご照会については、みずほ銀行全国本支店でも取扱っています。)

ホームページのご案内 <http://www.kureha.co.jp/>

当社のモノづくりへのこだわりや研究開発戦略、製品情報など様々な情報を掲載しております。
 また、「株主・投資家情報」では、中期経営計画や業績の概況などについてご説明しておりますので、ぜひ、ご覧ください。

TOP
ページ



株主・
投資家
情報



Contents

- 経営方針・戦略
- 財務指標の推移
- 株式情報
- IR資料室
- IRイベント など



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

株式会社 **クレハ**
KUREHA CORPORATION

KUREHA REPORT

クレハレポート

第**103**期 中間報告書
(2015年4月1日～2015年9月30日)

株式会社 **クレハ**
KUREHA CORPORATION

証券コード：4023

トップメッセージ

永続的に利益を創出する基盤を固める

ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
当社第103期中間期（2015年4月1日から2015年9月30日まで）の「クレハレポート」をお届けします。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2015年12月

代表取締役社長 小林 豊

》 当中間期の概況について

わが国経済は、原油安が継続し、雇用・所得環境も改善傾向にあり全体としては緩やかな回復基調が続きました。また、世界経済は、中国の成長鈍化はあるものの米国の景気は引き続き底堅く推移しました。

当中間期の連結売上高は前年同期比6.2%減の688億63百万円、営業利益は同12.6%減の50億29百万円、経常利益は同16.7%減の50億28百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、同23.4%減の33億56百万円となりました。

当中間配当金は、当初の予定通り1株につき5.5円とさせていただきます。

》 2015年度は中期経営計画の最終年度

「中期経営計画Grow Globally-II」ローリングプランの最終年度である2015年度において、通期の業績予想は売上高1,550億円、営業利益130億円としております。中期経営計画ローリングプランの計画値に対しては下回るものとなりましたが、この要因をしっかりと解析し、これからの経営に反映させてまいります。当社は2015年度を2016年度以降の持続的な成長に向けての足固めの年度と位置づけ、新規事業の育成、競争優位にある既存事業の収益拡大、改革推進プロジェクト活動による全社的な体質強化を目指し、事業運営を行っております。

当社の成長をけん引する新規事業と位置づけているPGA（ポリグリコール酸）樹脂は、シェールガス・オイル掘削用途において、掘削コスト削減に寄与することから、売上が伸長し、当初計画より早期の単年度黒字化を見込んでおります。既存事業においては、需要が伸長しているリチウムイオン電池向けのふっ化ビニリデン樹脂の事業拡大、家庭用ラップ「NEWクレラップ」の安定的な収益の確保に注力しております。

全社的な体質強化では、改革推進プロジェクトのもと、コスト削減、生産性向上、業務の効率化などの活動を深化させるとともに、グループ会社への展開も図っております。

》 人財開発の新たな取組み

2015年度より人財開発3カ年計画をスタートさせました。当社が繁栄を続けるためには、既存事業の成長、新規事業の開発、そしてそれを支える人財の育成が不可欠です。

当社の人財開発の目指す姿を、『クレハの競争力の源である「期待される役割と職務を確実に遂行できる人財」を早期に育成します。その中で、全社員が常に挑戦する意欲を持ち続け、よい上司に育てられた優秀な人財がさらに次の世代を育てるという好循環を築きます。』とし、人財開発プログラムを強化しました。

社員の能力を引き出す人事ローテーション、将来の経営を担う社員や高い専門性を有する社員への社外交流機会の提供など、新たな人財開発の取組みを進めています。また、女性がより生き生きと活躍できる環境づくりのため、女性で構成されたチームによる新しいプログラムの検討を始めています。

トップメッセージ

努力の積み重ねが繁栄の礎

私の好きな言葉に「一念一念と重ねて一生なり。」があります。江戸時代に出された武士としての心得を解説した「葉隠」に記された一文です。私は、2012年9月の社長就任時に、スローガンとして、行



動の源となる「パッション」と変化への迅速な対応を求める「スピード」を掲げました。2013年4月には、激変する事業環境に自らチャレンジする意識を定着させるため、社長直轄の改革推進プロジェクトを立ち上げました。

当社の利益創出力は着実かつ確実に強化されてきていますが、もっと高い所を目指さなければ真の実力にはならず、一瞬の気の緩みで奈落の底に落ちてしまうこともありうるため、粘り、こだわりをもって課題に取り組み、達成するという趣旨でスローガンに「コミットメント（誓約）」を加えました。まさに、「一念一念と重ねて一生なり。」の精神です。

当社グループが永続的に繁栄し、株主の皆様とともにその喜びを分かち合えるよう、新規事業の育成をはじめとする各施策を社員一丸となって着実に実行することで、利益を創出する基盤をより堅固なものにしてまいります。

第103期剰余金の配当（中間配当）に関する取締役会決議

当社は、剰余金の配当等の決定に関して、中長期的な成長の実現に向け企業体質の強化を図るとともに将来の事業展開に備えること、および安定的、継続的な配当を実施することを基本方針としております。

2015年10月20日開催の当社取締役会において、第103期(2015年4月1日から2016年3月31日まで)の中間配当は、1株当たり5.5円とすることを決議いたしました。

1株当たりの配当金 (円)

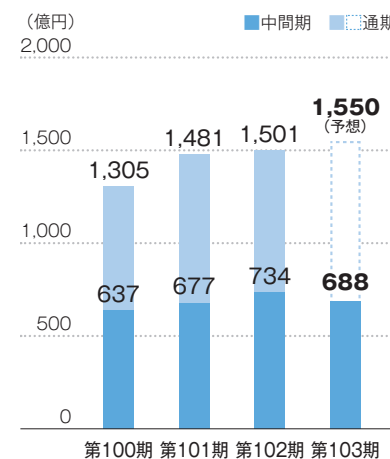
	100期	101期	102期	103期
中間	5	5	5.5	5.5
期末	5	6	*6.5	5.5(予想)
年間	10	11	*12	11(予想)

*記念配当1円を含む

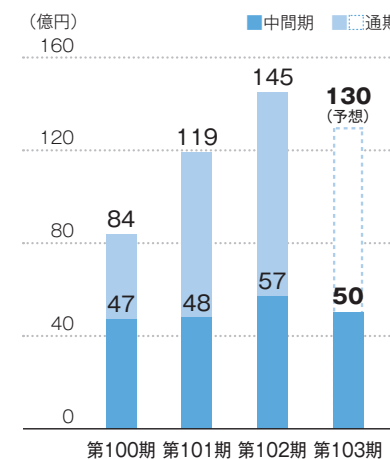
連結財務ハイライト

科目		第100期		第101期		第102期		第103期	
		中間	通期(期末)	中間	通期(期末)	中間	通期(期末)	中間	通期予想
売上高	(億円)	637	1,305	677	1,481	734	1,501	688	1,550
営業利益	(億円)	47	84	48	119	57	145	50	130
経常利益	(億円)	37	65	52	122	60	154	50	125
親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益*	(億円)	22	32	35	73	43	91	33	80
1株当たり当期(四半期)純利益	(円)	—	18.7	—	42.9	—	53.5	19.5	46.6
総資産	(億円)	1,884	2,052	2,128	2,244	2,356	2,496	2,473	—
純資産	(億円)	902	962	1,027	1,061	1,099	1,206	1,231	—
1株当たり純資産額	(円)	512.5	546.7	585.5	604.0	626.3	687.8	702.2	—
自己資本比率	(%)	46.7	45.7	47.3	46.2	45.6	47.3	48.8	—
自己資本利益率(ROE)	(%)	—	3.5	—	7.5	—	8.3	—	—

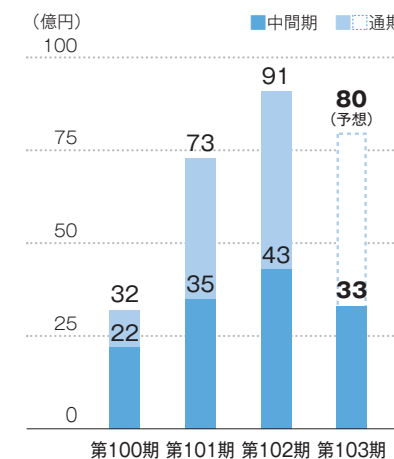
売上高



営業利益



親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益*



* 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更を適用した表示

セグメント別営業概況

機能製品事業

売上高 **187.9** 億円
(前年同期比103.5%)

PPS樹脂成型品(自動車用途) 炭素繊維(断熱材用途)

機能樹脂分野
PPS樹脂は売上げが減少しましたが、ふっ化ビニリデン樹脂はリチウムイオン二次電池用バインダー用途・工業用途向けに、PGA(ポリグリコール酸)樹脂はシェールガス・オイル掘削用途向けに売上げが増加し、機能樹脂分野は増収増益となりました。

炭素製品分野
炭素繊維、特殊炭素材料はともに売上げが減少し、炭素製品分野は減収となりましたが、コスト削減に努め営業損失は縮小しました。

項目	102期中間期	103期中間期
売上高(単位:億円)	181.6	187.9
営業利益	△3.9	1.1

樹脂製品事業

売上高 **219.7** 億円
(前年同期比95.6%)

家庭用ラップ「NEWクレラップ」 熱収縮多層フィルム(食品用途)

家庭用ラップ「NEWクレラップ」の売上げは前年並み、ふっ化ビニリデン釣糸「シーガー」の売上げは増加し、コンシューマー・グッズ分野は増収となりましたが、コストが増加したため営業利益は減少しました。

包装機械の売上げが減少し、業務用食品包装材分野は減収減益となりました。

項目	102期中間期	103期中間期
売上高(単位:億円)	229.8	219.7
営業利益	22.2	16.7

コンシューマー・グッズ分野
業務用食品包装材分野

化学製品事業

売上高 **150.9** 億円
(前年同期比84.9%)

慢性腎不全用剤「クレメジン」 農業・園芸用殺菌剤「メトコナゾール」

農業・園芸用殺菌剤「メトコナゾール」および慢性腎不全用剤「クレメジン」の出荷が減少し、医薬・農薬分野は減収減益となりました。

無機薬品類と有機薬品類の売上げが減少し、工業薬品分野は減収減益となりました。

項目	102期中間期	103期中間期
売上高(単位:億円)	177.7	150.9
営業利益	32.5	24.1

建設関連事業とその他関連事業

売上高 **129.9** 億円
(前年同期比89.5%)

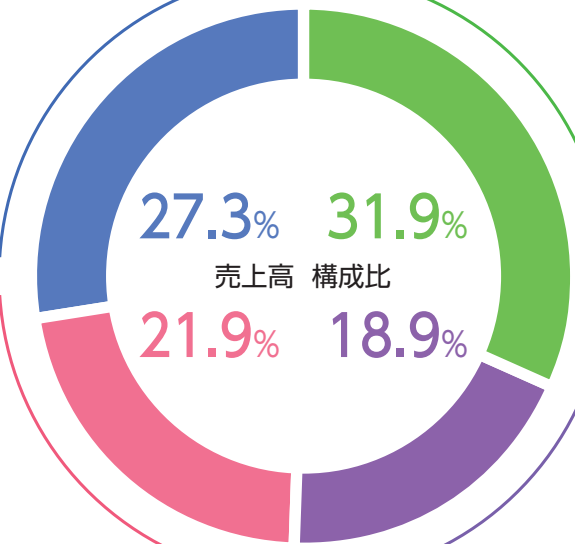
災害公営住宅(クレハ錦建設) 環境事業(クレハ環境)

震災復興関連等の公共工事は堅調に推移しましたが、民間建築工事、プラント建設工事は減少し、建設関連事業は減収減益となりました。

環境事業は、焼却炉更新工実施による産業廃棄物処理の減少により売上げ、営業利益ともに減少しました。運送事業は、売上げは減少しましたが、コスト削減により営業利益は増加しました。これらにより、その他関連事業は減収減益となりました。

項目	102期中間期	103期中間期
売上高(単位:億円)	145.1	129.9
営業利益	9.0	7.3

建設関連
その他関連





クレハエクストロン(株) 新工場外観

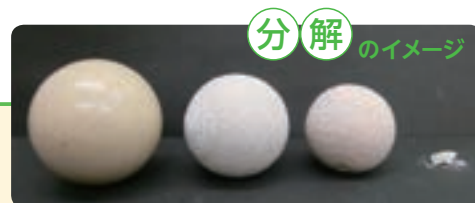
クレハエクストロン(株)で PGA樹脂成形品新工場が稼働

2015年5月、クレハエクストロン株式会社(東京都大田区)において、PGA(ポリグリコール酸)樹脂成形品の生産能力を増強した新工場が稼働を開始しました。同社は、シェールガス・オイルの掘削時に使用される装置部品の部材となるPGA樹脂成形品を生産しており、2014年度からフル生産を続けています。このたびの新工場の稼働により、今後の更なる需要増加に対応してまいります。

なぜPGA?

PGA樹脂は高強度、生分解性、ガスバリア性などの優れた性能を有するプラスチックです。当社は世界で初めてPGA樹脂の大量生産プロセスの開発に成功し、幅広い産業分野での応用を可能にしました。

シェールガス・オイルの掘削には「水圧破碎」という方法がとられており、高い水圧がかかる掘削部品は高い強度が必要とされるため一般的に金属製のものが使われています。ただ金属製は水圧破碎後に地中から回収する必要がありますが、PGA樹脂製は高い強度を持ちながらも地中の水と反応し二酸化炭素と水に分解することで、回収が不要となるので、その有用性が高く評価されています。PGA樹脂はシェールガス・オイルの掘削コストの削減や生産効率の向上に大きく貢献しています。



PGA樹脂のボールは、2週間ではほぼ分解します。(テスト条件: 99℃、水中)

分解のイメージ

新製品

キッチンさん「フライパン用ホイルシート 厚手」のご紹介



色々なお料理で使えます!

テレビCM「キッチンさん キッズ人形劇」編放映中!



包み焼きにも



炒め物にも



チーズフォンデュにも

キッチンさん「フライパン用ホイルシート」シリーズに厚手タイプの「フライパン用ホイルシート 厚手」が新登場。「フライパン用ホイルシート」はアルミホイルにシリコーン樹脂加工を施し、調理する際、油を使わなくても食材がフライパンにくっかずお料理がきれいに仕上がります。また、使用後にフライパンを洗う手間がかからないので、後片付けも簡単です。「フライパン用ホイルシート 厚手」は、従来のホイルシートシリーズに比べ、丈夫になりましたので、菜箸を使う炒めものや包み焼き等、さまざまなお料理にご使用いただけます。

いつものフライパンにピッタリサイズの25cm、大きめのフライパンには30cm、ホットプレートには33cmと幅のラインナップも3種類を揃えました。

新製品

キッチンさん「レンジフードフィルター」のご紹介

キッチンさん「レンジフードフィルター」は、ボリュームたっぷりの層状フィルターで油汚れからレンジフードをしっかり守ります。フィルターの花柄が油で見えにくくなったら、ポイッと捨てるだけなので、面倒なお掃除の手間を軽くすることができます。このたび、パッケージとフィルターの花柄をリニューアル。また使い切りサイズも新たに追加、ますますお求めやすくなりました。

付属の取っ手付磁石で、深型、浅型、どちらのタイプのレンジフードにも簡単に取り付けすることができます。

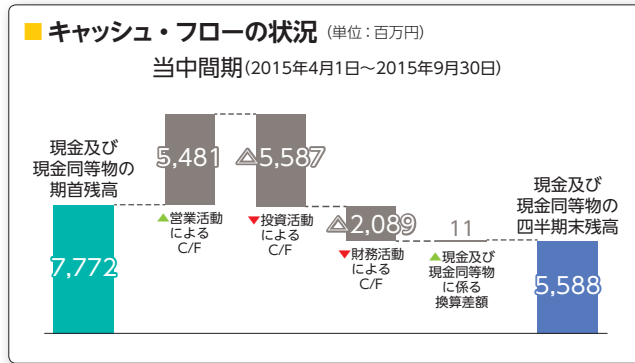
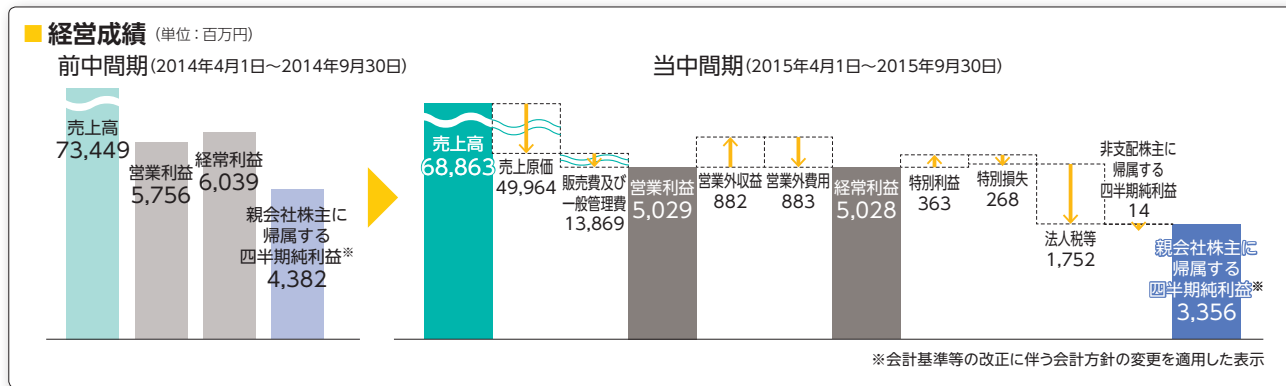
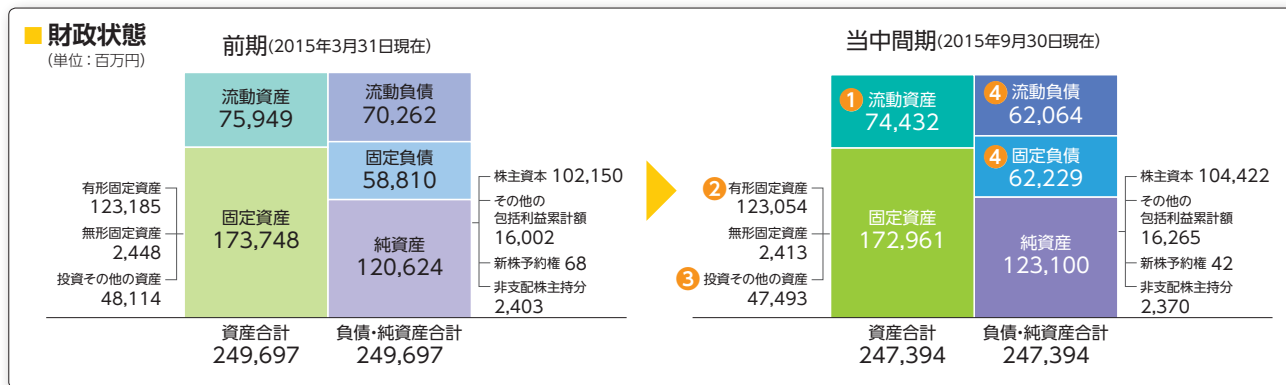


当社家庭用品サイト「クレライフ」(<http://kurelife.jp>)も、ぜひ、ご覧ください。

クレライフ

検索

連結財務諸表(要旨)



- 1 流動資産**
現金および預金等が減少しました。
- 2 有形固定資産**
大型の設備投資が一巡したこと等により減少しました。
- 3 投資その他の資産**
投資有価証券の売却等により減少しました。
- 4 流動負債・固定負債**
社債の償還等により有利子負債が減少しました。

会社概要 / 株式の状況

会社の概要 (2015年9月30日現在)

商号 株式会社クレハ
 英文社名 KUREHA CORPORATION
 本社 東京都中央区日本橋浜町3-3-2
 設立 1944年6月21日
 資本金 12,460百万円
 グループ従業員数 4,140名(単独: 1,841名)
 連結対象会社数 38社(連結子会社37社、持分法適用会社1社)
 ホームページ <http://www.kureha.co.jp/>

役員 (2015年9月30日現在)

代表取締役社長	小林 豊
代表取締役専務執行役員	佐川 正
取締役常務執行役員	野田 義夫
取締役常務執行役員	佐藤 通浩
社外取締役	竹田 恒治
社外取締役	馬谷 成人
常勤社外監査役	山口 治紀
常勤監査役	佐藤 光男
常勤監査役	新村 浩一
社外監査役	北村 大
常務執行役員	紫垣 由城
常務執行役員	福沢 直樹
執行役員	吉田 徹
執行役員	塩尻 泰規
執行役員	田中 宏幸
執行役員	山田 文彦
執行役員	名武 克泰
執行役員	西畑 直光
執行役員	米澤 哲
執行役員	並川 昌弘

株式の状況 (2015年9月30日現在)

発行可能株式総数 600,000,000株
 発行済株式総数 181,683,909株
 株主数 16,277名

大株主の状況 (2015年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
明治安田生命保険相互会社	13,746	8.00
東京海上日動火災保険株式会社	7,616	4.43
第一三共株式会社	5,830	3.39
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,611	3.26
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,032	2.93
株式会社みずほ銀行	4,000	2.33
CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY(アメリカ)	3,281	1.91
野村信託銀行株式会社(投信口)	2,722	1.58
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	2,702	1.57
みずほ信託銀行株式会社	2,664	1.55

注) 当社は自己株式9,814千株を保有しておりますが、上記大株主から除いています。また持株比率は自己株式を控除して計算しています。

